GEKIMIN

元気な民商ニュース

NO，483

発行:北区民主商工会
住所:北区豊島2-13-7
電話 3913−6632
FAX 3913−6741

商工新聞の読みどころ▼…滞納処分の執行停止１面　▼商売繁盛…1面　▼私たちの主張…2面　▼怒り全県に広げ…2面
▼経済対策として実施…3面▼消費税増税阻止へ…4面▼生業破壊…5面▼読書…6面▼比例定数削減するな…7面▼視点…7面

ホームページ http://www3.kitanet.ne.jp/~kitamins/index.html　Eメール kitamins@ma.kitanet.ne.jp

消費税増税許さない！

消費税廃止各界連絡会 街頭ロングラン宣伝行動が

2月9日(木)北区各界連の取り組みとして、区内全域を巡る宣伝行動を行いました。参加は3団体4名、民商からは2名が参加。午後1時から5時までのロングラン宣伝行動となりました。

消費税増税に反対の声をと訴え

この日、弁士に立った鳥居事務局長と税理士法人・第一経理の千葉秀蔵代表が「増税は消費税を転嫁できない中小業者の営業を破壊するものだ、私たちの商売とくらしを守るために、署名や増税反対行動に参加しましょう」「消費税増税しなくとも財源はあります！下げ続けてきた法人三税を消費税導入前に戻すだけで…」と、ハンドマイクで道行く人に訴えました。

先日、料飲業者の多い赤羽志茂岩支部の役員会では、「料飲業はフロアに人を雇わないと商売にならない。かといって人件費は消費税の経費にはならないし、簡易課税にするとみなし税率が低い。５%から10%に増税されれば、単純計算で現在支払ってる税額の倍になる。値上げはできないし売上が上がる見込みもない中で10%への増税は死活問題だ！」と、話題になりました。

第一経理・千葉社長も

民商では、消費税増税反対署名を集めています。野田政権は、国民の60%以上が反対している、消費税10%増税を強行しようとしています。10%も増税されたら私たちの商売・暮らしが潰されてしまいます。お手元にある増税反対署名をご自身だけではなく、知人や近所の方にもお願いして、たくさんの反対の声で消費税増税を止めさせましょう。

革新懇学習会

消費税導入前の1988年と現在を比べると…

会社員の医療費自己負担…**1割→3割へ**
老人医療の自己負担…**月額800円→1割又は3割負担**
国民年金保険料…**月額7700円→15020円に！**
特養老人ホーム待機者…**2万人→42万人に！**
「福祉目的税に…」とか「復興財源に」なんて言われても、もう騙されないぞ！

2月10日(金)北区革新懇主催の学習会が東京土建北支部会館で開催。参加者は40名で民商からは10名が参加しました。講師には、城西大・明治学院大兼任講師でキューバ滞在暦19年の進藤通弘氏を招き、「米国から自立して社会変革すすめるラテンアメリカ―中南米カリブ海諸国の共同体の前進―」と題した講演がありました。

講演内容は、南米ラテンアメリカでは、1970年代からクーデターを起こした軍人たちが採用され、軍事政権が新自由主義政策を先駆的に実行してきました。80年代にはいると国家財政の安定化、インフレの抑制、貿易の自由化、金融の自由化に重点がおかれ経済は後退し(失われた10年)、さらに90年代になると生活関連インフラの企業まで民営化され派遣社員・バイト社員という雇用体系により生涯賃金が低下し貧困人口の増大・所得格差の一層の拡大となりました。また社会福祉も低下し大多数の国民が社会の発展から排除されました(絶望の10年)。

この新自由主義政策の悲惨な結果との決別のため、社会運動だけでなく新自由主義政策を厳しく批判する政治勢力は1998年以降多くの国民の支持を得て政権を獲得するようになりました。

スライドを使って解り易く説明

ラテンアメリカ・カリブ海の経済統合は着実に進み2005年12月からは新自由主義反対・米国からの自立大統領候補は17勝7敗4引き分けとなっています。アメリカから距離的に近い中南米カリブ海諸国は、今までずっとアメリカの干渉に耐えてきました。しかし、もうこれ以上干渉させないと同じラテン系の民族同士が新自由主義によって破壊された経済主権・国民生活を回復し経済・社会発展から排除された国民を再度包摂しようと力強く立ち上がっている様子が話されました。と、現在の中南米ラテンアメリカの情勢と新自由主義がもたらした社会崩壊からの凄まじい脱出劇をとても分かりやすく話して下さいました。

鈴木事務局員

【参加者の感想】

2月10日講師・進藤通弘による「米国から自立して社会変革すすめるラテンアメリカ」について、学習・懇談会に参加しました。

新自由主義からの脱却を目指す動きは、ラテンアメリカ全域に広がり、アメリカの軍事的、経済的な干渉にもめげず、各国が共同して、これを排除。

新自由主義で疲弊した経済の立て直しを行なっている実態を説明していただきました。面白いと思ったのは、アジアでは何故各国がまとまれないのか？の質問で、ラテンアメリカ諸国はまず言語に共通性がある(主にスペイン語)、そのため文化にも共通性がある。

だから上手く行く。とのことでしたが、さらに、国際紛争などでは武力によらず、政治的な解決を図るようですが、そのときに日本人のように物事を突き詰めるのではなく、楽天的な民族性が役に立っているようです。

アジア、特に日本では「新自由主義」の呪縛から抜け出せないでいますが、その点は、ラテンアメリカを見習いたいものです。

滝野川支部・鈴木貴一

国会要請行動に参加しよう！

第180通常国会が6月20日まで開催。今国会の最大の争点は「社会保障と税の一体改革」、消費税の大増税です。全国の仲間と共に国会議員要請行動を行いますので、積極的にご参加ください！

2月22日(水)12時
衆議院会館内集合
※打合せ後に議員要請

ものづくり民間サミット開催

中小業者のみならず区職労や病院職員などが参加する民間サミットのはじまりは、10都市の行政側が1997年に「中小企業都市連絡協議会」を結成し、「第1回中小企業都市サミット」（隔年開催）を東大阪市（5月）で開催されることを「不況打開大田区実行委員会」が事前に知り、これに呼応して該当する都市の運動団体に「中小企業のまち民間サミット」開催を呼び掛けて同年5月に同じ東大阪市で開催したのがはじまりでした。

多摩川沿いの㈱東亜さん

第8回中小企業のまち民間サミットが2月4日5日の2日間、東京大田区で開催されました。

全体では186人が参加し、北区民商から1名が参加。初日4日の早朝から、大田のものづくり事情を視察するツアーが行われ、3社を訪問しました。

大田区では、工場アパート政策が行われており、そのうちの一つ、テクノウイングに入る㈲宗像工業所さんを訪問しました。5階建てのテクノウイングは、工場街の宅地化が進む中で、新住民と町工場が同居できる街づくりに一役かっています。そして、電気料金も会社ごとに契約する必要が無く、基本料・使用料共に入居者で分担する形になっているので、経費節約にもなるとの事でした。

テクノウイングに入居の宗像さん

2軒目は多摩川の土手沿いに位置する㈱東亜さん。精度を要する加工も旧式の機械で難なくこなす匠です。周辺の環境変化や情勢による仕事の変化などを話して下さいました。

3軒目は㈲エスエスケイの佐々木さん。佐々木さんは蒲田民商副会長も務める金属加工のエキスパート。この日は大田区工業展と重なり、多忙な中、対応して下さいました。単価が切り下げられる中、NC旋盤を導入し「ロット数をこなす中で売上の確保をしよう」と、思ったそうですが、最新機械を入れた途端に「作業効率が良くなって楽に作れるようになったんだからもっと単価を下げろと言われ、なかなか元が取れない」と、厳しい状況を話して下さいました。そんな中でも、蒲田民商の仲間と共に、互いの技術力を活かしながら、仕事興し・製品作りができないかと、工業部会で討議中だそうです。「待ち工場」からの脱却の展望や夢を語って下さいました。

展望を語る佐々木さん

午後からの全体会では、被災地からの報告や、東大阪など6団体の代表者が地域経済の活性化に欠かせない中小零細企業への施策と仕事おこしについての経験が報告された後に7分散会で交流が行われました。

また、板橋区舟渡3丁目の「地区計画制度」が話題に取り上げられました。住宅地と工場の創業環境を守るなかで、自治体の役割が大きいことなども報告。北区での田端新町の変貌ぶりを思い浮かべながら、報告を聞いてきました。

日本の物づくりを守る…地域経済を支える中小業者に光をあて、さまざまな分野の労働者が集う民間サミットの可能性と重要性を痛感した二日間となりました。

次回は墨田で開催！

墨田民商の小林副会長が閉会の挨拶にたち、「次回は墨田で行います。今、墨田はスカイツリーの5月開業で浮かれていますが、地元では観光に来るお客さんがみな浅草へ流れるのではないかとさめた目で見ています。墨田区は100億円以上もかけてタワー周辺の整備に使っています。また、タワーに隣接する商業施設はあまりにも家賃が高すぎて地元自営業者は入店できない有様です。いま日本は、東日本大震災の復興、福島原発の被害、消費税増税、TPP参加の是非など難題続きですが、この中で地域の活性化と労働者の雇用をどう守るか、中小業者の仕事を確保するなどが課題になっています。大企業やアメリカの言いなりでなく国民と中小業者本位の政治を取り戻して営業とくらしの向上を勝ち取りたいと思います。次回は、墨田での第9回民間サミットを大勢の参加とご協力で成功させていただきますようにお願いして閉会の挨拶とします。」と、2日間を締め括りました。

共済会

共済会で取り組んでいる大腸がん検診は、194名の方から受診の申し込みがありました。申し込まれた方は、**2月29日（水）**までに大腸がん検診キットを郵送ください。数日中に、検査結果が送られてきます。

今年は全商連創立60周年により郵送検査の結果、「陽性（＋）」になり2次検査を受けた共済加入の方には、**費用の一部として5千円補助します。**該当される方は、地域役員または本部までご連絡ください。

早期発見、早期治療がなによりです。陽性反応の方は迷わず2次検査を受けて下さい。

1月末の段階で、7名の方が検体提出されました。確定申告などで忙しい時期ではありますが、2月末の〆切まであと少し！早めのご提出をお願いいたします。

劇団文化座創立70周年記念

眼のある風景

夢しぐれ東長崎バフー寮

1970 年、国立の近代美術館において、ある男が鉄パイプを振るい、展示された絵画を破損させる事件が起こる。日本が誇る画家たちによるそれら作品群の中に、霰光のものも含まれていた。

絵を描く事に全てを賭け、そして戦争に散った霰光。そんな彼の作品が、なぜ幾星霜も経て無残にも傷つけられなければならなかったのか？

会場：あうるすぽっと（豊島区立舞台芸術交流センター）　一般 5,500 円

3月	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日
14：00		●		●	●	●	●	●			●	●
18：30	●		●						●	●		

お知らせ

◆会内なんでも相談会
経営・くらしのなんでも相談会です。**毎週木曜 午後2時～**

◆金融相談会虹の会
第1・第3水曜
2部構成で開催
昼の部2時～
夜の部7時～
次回3月7日見学歓迎

◆会員無料法律相談
弁護士による無料法律相談会です。
次回2月22日（水）
午後2時から（要予約）

◆パソコンクラブ
2月27日　2時から
赤羽文化センター
参加費200円
親切丁寧をモットーに開催。ぜひご参加ください。

◆第9回城北法律セミナー
2月24日（金）6時半～
豊島区立生活産業プラザ
講演・成年後見人ってなに？

◆北法セミナー
遺言と相続の話
3月9日（金）6時～
北法ビル3階会議室
講師・弁護士　坂田洋介
弁護士　金井知明
相続の基本から遺言制度について分かり易くお話します。

◆さよなら原発 in 飛鳥山
3月11日（日）　2時
飛鳥山公園集合
大震災・原発事故から1年目を迎えるこの日、区民集会を行います。ご参加を！